令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大桐小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区　　名	東淀川区
学　校　名	大阪市立大桐小学校
学 校 長 名	狩谷　利恵

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和８年４月に、６年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

１　調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

２　調査内容

(1)　教科に関する調査

・国語

・算数

(2)　質問調査

・児童に対する調査

・学校に対する調査

３　調査の対象

・国・公・私立学校の小学校第６学年の原則として全児童

・大阪市立大桐小学校では、第６学年　85名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大桐小学校の結果概要

今年度は、国語科・算数科ともに平均正答率が全国・大阪市平均を下回る結果であった。国語科の平均正答率は、対全国比が－3.9ポイント、対市比が－2.0ポイント、算数科の平均正答率は、対全国比が－9.4ポイント、対市比が－9.0ポイントであった。平均無解答率（答えを全く書けず白紙で回答する率）において、国語科・算数科ともに、全国・大阪市平均より高い割合であった。特に算数科においては、全国・大阪市平均より3ポイント以上高い結果であった。本校児童の基礎学力や粘り強く課題に取り組む姿勢は、研究教科である国語科においては育ってきているが、算数科では十分ではないことが、今回の調査結果から考察できる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

国語科においては、学習指導要領の各内容項目の平均正答率は、１項目以外は全国・大阪市平均を下回る結果であった。令和５年度より国語科を本校の研究教科に据え、基礎学力の定着を目指し取り組んだことや、朝学習や自主学習の取り組みを継続してきているが、学年ごと児童の実態によってはまだ十分な成果が得られていない。下回った項目で特に課題が見られたのは「話すこと・聞くこと」「読むこと」である。「話すこと・聞くこと」の本校の平均正答率が58.0%で（全国平均65.8%、大阪市平均63.1%）、「読むこと」の本校の平均正答率が58.2%で（全国平均65.9%、大阪市平均66.0%）であった。課題として受け止め、今後の指導や支援に生かしていきたい。一方、「情報の扱い方に関する項目」については、本校の平均正答率は、全国・大阪市平均を上回る54.7%であった。（全国平均52.3%、大阪市平均53.2%)

【算数】

算数科においては、学習指導要領の５領域（「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」）のすべての平均正答率において、全国・大阪市平均を下回る結果であった。デジタルドリル教材ナビマや、計算スキルドリル等に継続して取り組んできたが、十分な成果として現れていない。特に、課題が見られたのは、「図形」で、本校の平均正答率が42.9%で（全国平均55.3%、大阪市平均54.5%）あった。授業中の練習問題、朝学習の課題等、より児童の実態に合うよう工夫し定着が図れるようにしたい。

国語科・算数科にともに、選択式、短答式、記述式の問題形式の中で記述式に特に課題が見られ、全国平均より10ポイント以上低い結果であった。（国語科：本校42.4%、全国54.9%　算数科：本校37.6%、全国48.5%）学力向上支援チーム事業におけるスクールアドバイザーの訪問指導により、国語の研究の深化・充実したり、研究を積み重ねながら「書く」活動を教科横断的に取り組んできているがまだ十分ではない。

質問調査より

「早寝・早起き・朝ごはん」に関わる質問項目が、良い結果であった。本校で重点を置いて取り組んできたことや、家庭の協力もあっての成果と捉えている。また、「学校が楽しい」「自己肯定感」にかかわる質問項目についても、良い結果が得られた。特に、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」については良い結果で、学校全体で学校が楽しいと思えるような活動や、自己肯定感を高めるための活動を工夫しながら取り組んだきたことが成果となって現れたと考える。また、「友達関係に満足していますか」についても良い結果が得られ、仲間を大切にする意識が育ってきていることが伺えた。仲間づくりの通して友達を思いやる心を醸成する取り組みを今後も継続していきたい。しかし、「家庭学習時間」の質問項目については、全国・大阪市平均より低い結果であった。また、１日のスマートフォンやゲーム等の使用時間についても、全国・大阪市平均より長い結果であった。学校での指導や支援を充実させるとともに、家庭への協力も呼びかけながら改善を図ってきたい。

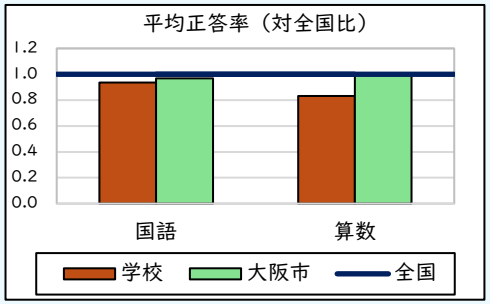
今後の取組（アクションプラン）

令和３年度より「大桐小学校の教育重点７項目」（「学校に行くのが楽しいと思える」「進んであいさつができる」「自己肯定感を育む」「早寝・早起き・朝ご飯」「わかりやすく楽しい授業」「読書が好きになる」「楽しんで運動したり、外で元気に遊んだりする」）とし、地域・保護者にも協力を呼び掛けながら、学校全体で取り組んできた。また、令和４年度より「スマートフォンやゲームの適切な利用」の項目を１つ追加し、「大桐小学校の教育重点８項目」として同様に取り組んでいる。今後も、児童一人ひとりの状況や課題に合わせて、地域・保護者にも理解や協力を得ながら、基本的生活習慣の確立と学力向上の取り組みを深化・充実させていく。課題となった国語科の「話すこと・聞くこと」「読むこと」、算数科の「図形」については、校内組織の学力向上委員会を中心に分析を進め、指導や支援の方策を検討して改善を図るようにする。

令和８年度　全国学力・学習状況調査　教科に関する調査結果の概要

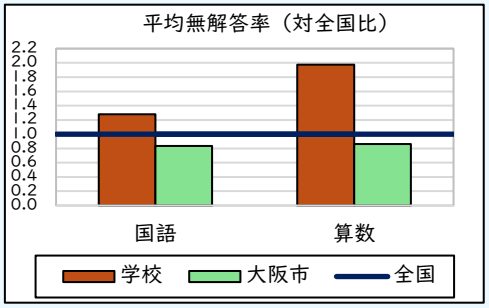
平均正答率（%）

	国語	算数
学校	57	47
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



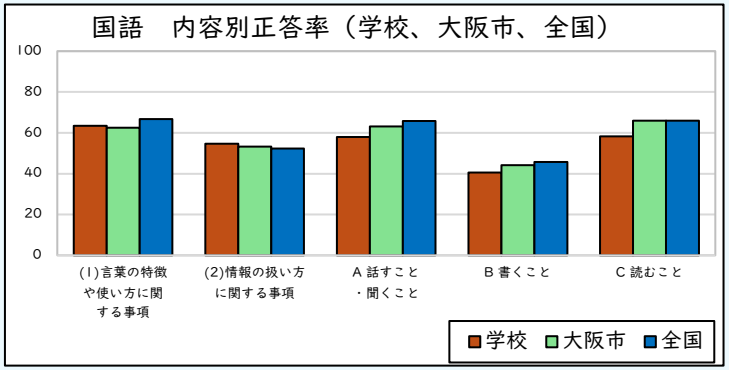
平均無解答率（%）

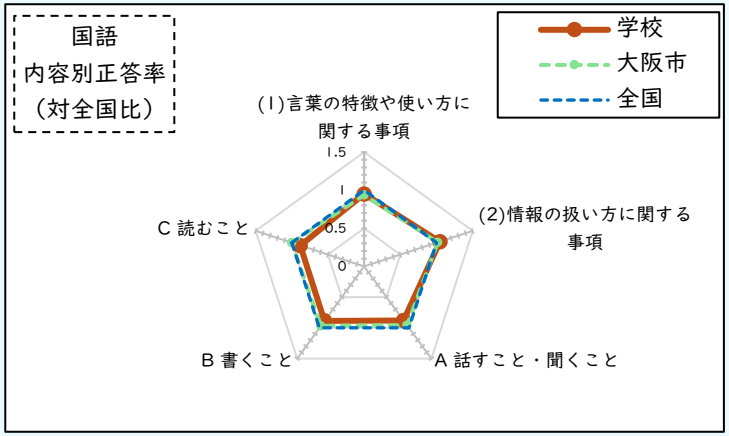
	国語	算数
学校	4.4	6.3
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



【国語】内容別正答率

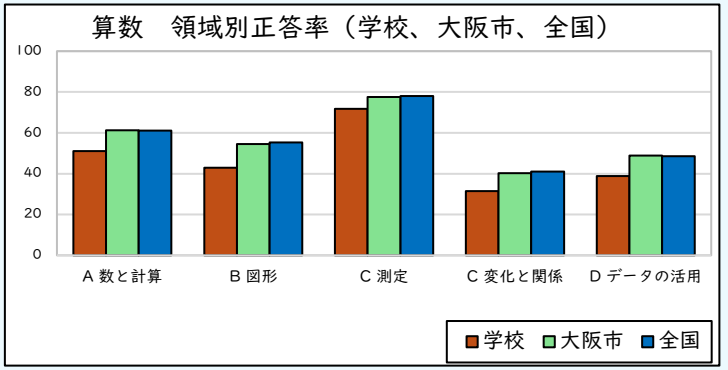
学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	4	63.5	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に関する事項	2	54.7	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	－	－	－
A 話すこと・聞くこと	3	58.0	63.1	65.8
B 書くこと	2	40.6	44.2	45.7
C 読むこと	2	58.2	66.0	65.9

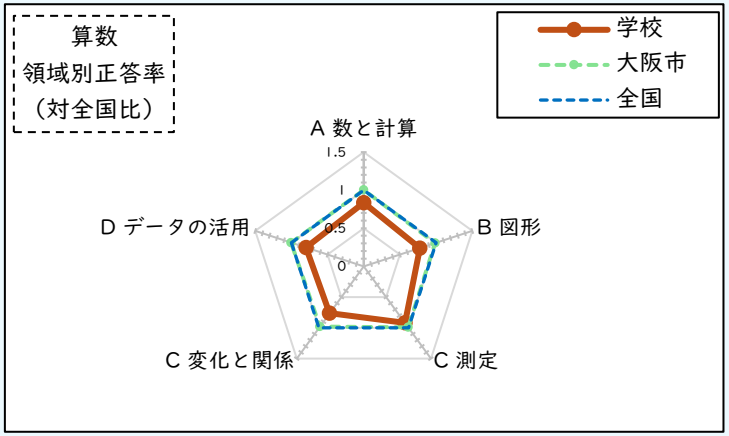




【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（%） 学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	51.0	61.2	61.1
B 図形	4	42.9	54.5	55.3
C 測定	1	71.8	77.5	78.1
C 変化と関係	3	31.4	40.3	41.1
D データの活用	4	38.8	48.8	48.6

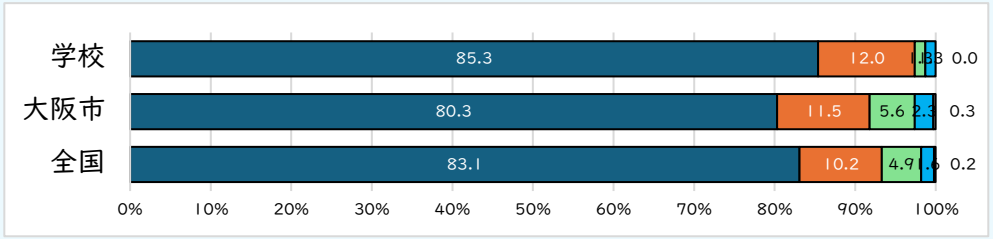


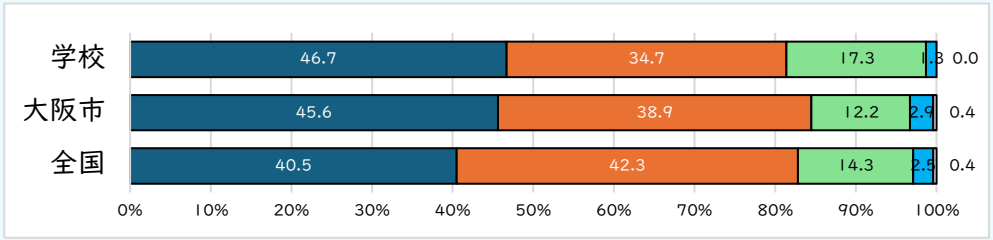


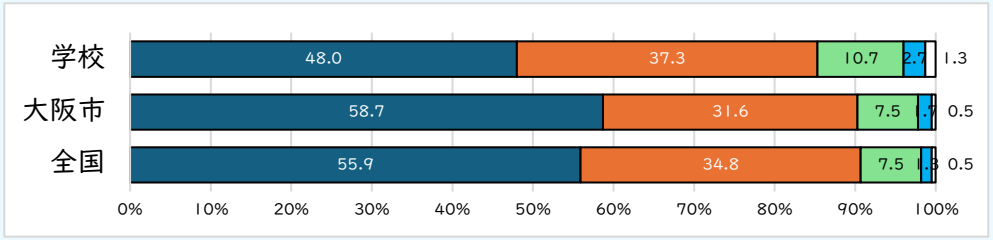
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

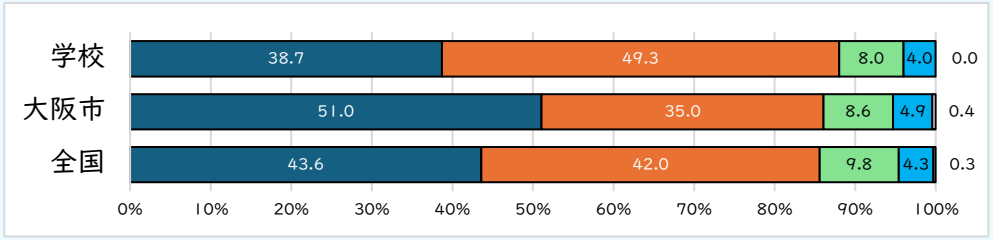
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

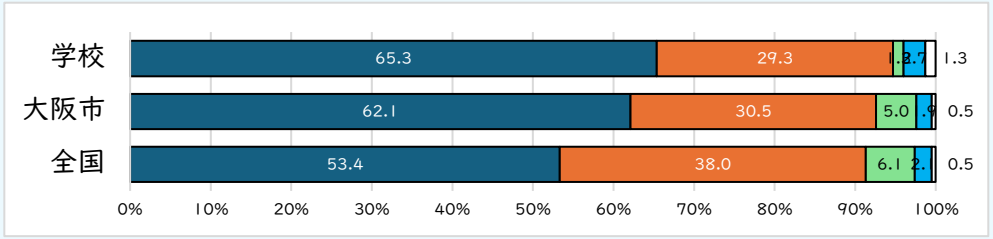
質問番号	質問事項
（1）	朝食を毎日食べていますか
（2）	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
（3）	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
（8）	自分には、よいところがあると思いますか
（9）	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか











1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

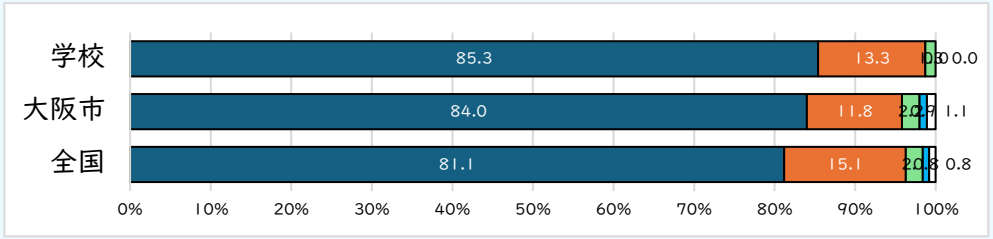
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

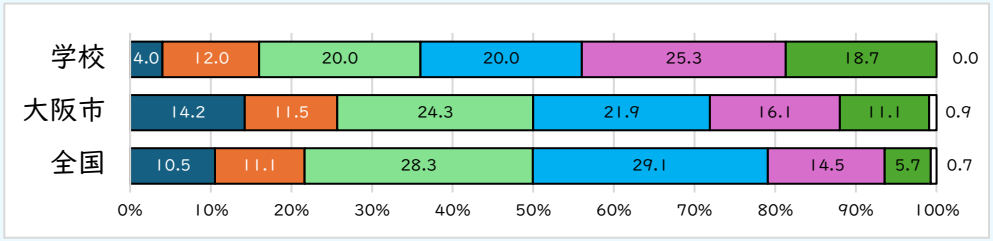
令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

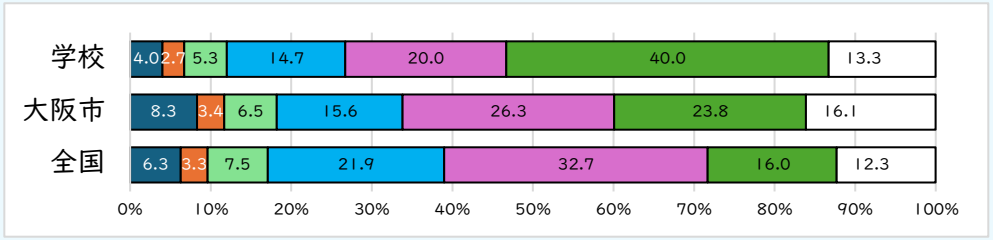
質問番号	質問事項
（１２）	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
（２３）	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
（２５）	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
（２６）	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
（４）	普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等（以下、「スマートフォン等」）でSNSや動画視聴などをしますか（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



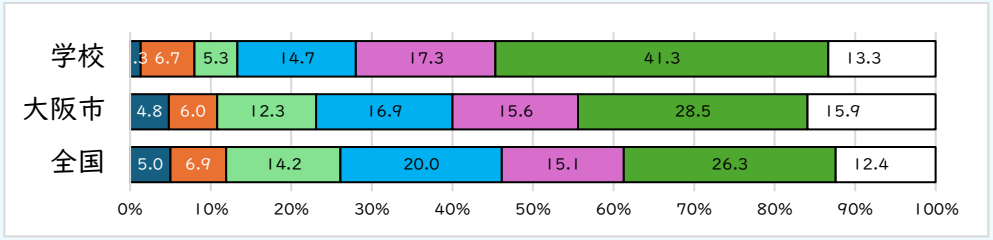
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない



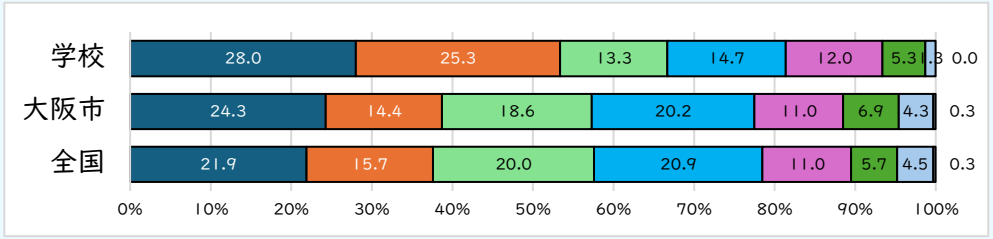
1 ３時間以上
2 ２時間以上、３時間より少ない
3 １時間以上、２時間より少ない
4 ３０分以上、１時間より少ない
5 ３０分より少ない
6 全くしない



1 ４時間以上
2 ３時間以上、４時間より少ない
3 ２時間以上、３時間より少ない
4 １時間以上、２時間より少ない
5 １時間より少ない
6 全くしない



1 ２時間以上
2 １時間以上、２時間より少ない
3 ３０分以上、１時間より少ない
4 １０分以上、３０分より少ない
5 １０分より少ない
6 全くしない



1 ４時間以上
2 ３時間以上、４時間より少ない
3 ２時間以上、３時間より少ない
4 １時間以上、２時間より少ない
5 ３０分以上、１時間より少ない
6 ３０分より少ない
7 スマートフォン等を持っていない

令和８年度　全国学力・学習状況調査　児童質問調査より

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

質問番号	質問事項
（15）	学校に行くのは楽しいと思いますか
（17）	友達関係に満足していますか
（20）	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
（13）	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
（45）	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

